宇大生が建築展作品発表

４班の「ふらっと」を披露

マスケンと総合資格

マスケン（宇都宮市西川田東町11－1）と総合資格学院宇都宮校（池上町４－２）は４月25日、マスケン本社で第43回宇大建築展の作品発表会を開催した。宇大建築展の発表会は今回が初。建築都市デザイン学科の４班がそれぞれテーマの「ふらっと」を解釈し制作した作品の概要などを発表。マスケンの会社紹介や総合資格学院ガイダンスも行われた。

プレゼンテーションに聞き入った

各班の作品は１班が木琴の「ｍｏｃ，ｉｎ」、２班が木製遊具カラコロツリーの「記憶のもと」、３班がベンチの「滞流」、４班が箱型木製打楽器カホンを組み合わせたブロックの「ＦＬ ＢＬＯＣＫＳ」。各班発表後、マスケン社員が質問で作品を深掘りした。

マスケンの増澤彩執行役員はキャリアを築くために重要な学生時代の過ごし方を紹介。学生は社会人と比較して時間の融通が利きやすいと指摘。やるべきことはたくさんの経験を通してできることを増やすことと強調し、学生の背中を押した。

最後に第43回宇大建築展の長瀬優太代表が中心となり、学生全員が主催２者へ感謝の気持ちを伝えた。

宇大建築展は１９８１年から開催されており、テーマは建築都市デザイン学科の学生が毎年決めている。

参加メンバーは次の通り。

▽１班＝三浦俊亮、佐藤亜耶、岡渕侑希、坂田結希、奥山真菜

▽２班＝村松美颯、鈴木陸斗

▽３班＝四野見青空、岡本果莉、大嶋悠斗、矢野心雪、村上達哉

▽４班＝西村宝生、錠前伊智、秋葉芽衣、宮本唯花、山岸亮晴